エキキタ低未利用沿道空間活用実証実験について

●実証実験計画対象地







●現状の課題認識

現状	発生している課題
立入制限により空間を「使わない」管理	沿道に滞留･交流が生まれない
人の目が届きにくい	違法駐輪等が発生しやすい
幹線道路沿いの未利用空間	まちの価値･景観を十分に活かせていない

●実証実験の仮説

空間を魅力的に「使う」状態をつくれば、人の滞在と見守りが生まれ、違法駐輪の抑制と沿道のにぎわいを両立できる。

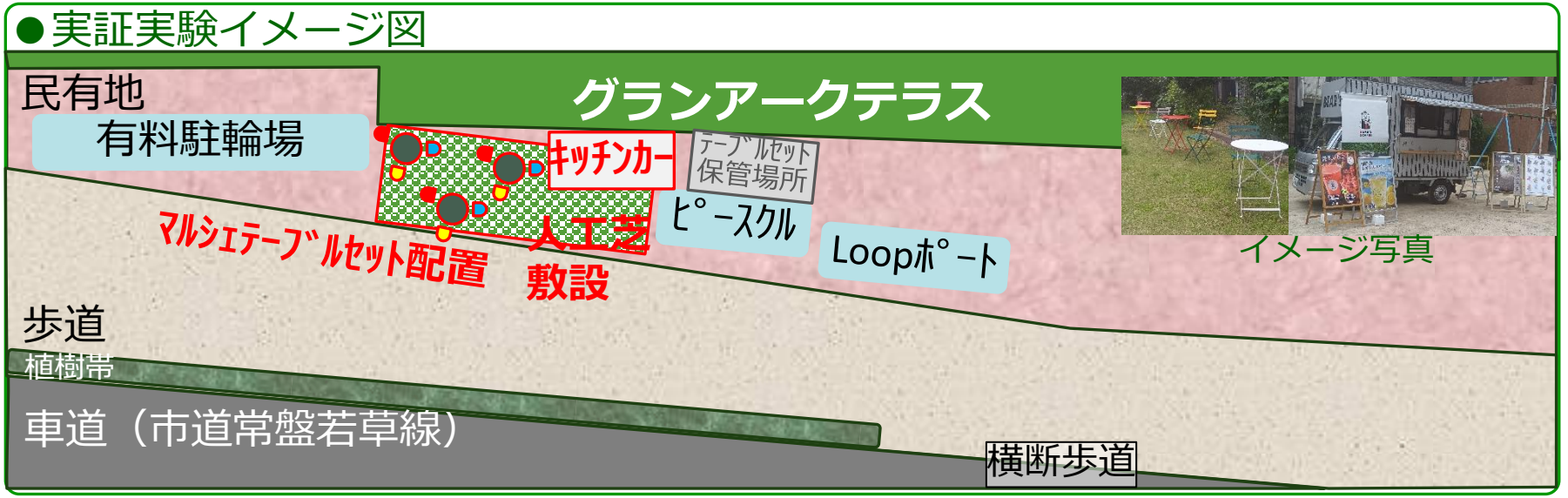
人工芝・テーブルセット・キッチンカーを配置し、
「通過する場所」から「立ち寄り、くつろぐ場所」へ転換する。

●エキキタまちづくりビジョンとの連動

つどう：来訪者･地域住民・就業者が集い、交流する場を創出
安全･安心･快適：人の目と利用により、違法駐輪されにくい快適な沿道へ
自立する：キッチンカー等の利用料による収益化の可能性を検証

エキキタ低未利用沿道空間活用実証実験について

●実証実験イメージ図



●実施概要

項目	内容
実施時期	2026年11月9日㈪~20日㈮
実施主体	エキキタまちづくり会議
対象者	歩行者,周辺住民,周辺就業者
実施内容	キッチンカー誘致,人工芝敷設 マルシェテーブルセットの設置
目指す利用	休憩,飲食,待合せ,地域交流 沿道回遊の起点
安全対策	資材配置の安全確認 利用状況モニタリング

●実証実験で検証すること

検証テーマ	確認する指標・観点等
賑わい・滞留	利用者数,滞在人数・時間 利用目的,時間帯別利用者
違法駐輪の抑制	実施中の駐輪台数 放置の発生状況
回遊性の効果	利用者アンケート 沿道店舗への波及
収益性・運営性	キッチンカー利用料 土地所有者・運営主体との役割分担